

# 垂水一心

編集：垂水中央中PTA広報文化部 発行：垂水中央中学校PTA

総合的な  
学習の時間

9/16  
ふるさと  
垂水  
から

## 漁業体験学習

一年一組 本城 恵子

今回の漁業体験学習で一番印象に残ったことは、生産者の養殖魚に対するこだわりです。

特に餌は、鹿児島でとれる茶葉を調合するなどして、質と味の良い養殖魚に育てているそうです。さらに、調合や餌の量は、魚の様子を見ながら決めて、最適な配合と量にするように努力しているそうです。

私も、こだわりやプライドをもって自分の仕事や役割に取り組みたいです。



## シャワークライミング

二年二組 安藤 彩葉

私は初めてシャワークライミングを体験しました。川の中を歩いたり、木が大きな岩の上に打ち上げられているのを見たりして改めて水のもつ力の怖さを実感しました。

バームクーヘン作りでは三人一組で協力し、頑張りました。煙で目に涙を浮かべながらでしたが、とてもおいしく作ることができました。

今回できた貴重な体験をこれから自然と触れ合う際に生かしたいと思います。

## 垂水史跡めぐり

三年一組 鎌田 日向花

私は今回の垂水史跡巡りに参加して、今まで知らなかった垂水の魅力を沢山知ることができました。

特に心に残った所は、埋没鳥居と島津家墓地です。戦国時代から垂水を支えてきた島津家の墓や大正時代の桜島の大噴火で埋まった埋没鳥居、他にも色々な遺跡を見て、垂水には長い歴史があり、沢山の魅力がある街だと初めて気づきました。私達の郷里である垂水の歴史を大切にしていきたいです。



スローガン  
心をひとつに燃え上げれ!!  
～涙あふれる最高の感動を～

第11回  
体育大会

競技の部  
応援の部  
優勝  
優勝  
白組  
青組



9月13日、コロナウイルス感染対策のため午前中のみ開催となりましたが、各団熱戦が繰り広げられました。

## 編集後記

今年度二回目の新聞作りは、一年生広報文化部が担当しました。今年はコロナ禍の中、体育大会や文化祭、体験学習等行われました。規模縮小や感染症対策等、例年にはない大変な面も多かったと思います。この新聞をご覧になり、2学期をご家族でふり返ってみてください。



11月17日 ボランティアガイドさんの話を聞きながら、鹿屋市の戦跡を巡りました。



地下壕電信室

平和公園慰霊塔

川東掩体壕

川東掩体壕を訪ねて  
一年二組 川井田 あすか  
ただのセメントの塊かなと思つたら、中は空洞でした。その当時の文字も残っていて、時の流れを感じました。掩体壕づくりなどの戦争関連のことを手伝えるために、子どもたちの学習がおろそかになつていないことを知って、戦争の犠牲者は、亡くなった方だけではないのだなと思えました。私たちは、戦争のことを後世にしっかりと語りつけないといけないと思つたので改めて思いました。

## 応援団長をして

青組団長 中島 僚太

一年生のころから、団長にあげられていて、三年生になって、あこがれの団長になれました。最初は、うまくまもらず、「僕でいいのかな」と不安がありました。こんな僕にみんな笑顔でついてきてくれて、みんなの笑顔を見るたびにだんだん気持ちが楽になっていきました。応援団長をして、多くのことを学び、自分も大きく成長することができたと思います。青組のみんな、本当にありがとうございます。

## 仲間の大切さ

白組団長 中濱 海晴

体育大会が近づくにつれて僕は緊張とプレッシャーで演舞の練習に身が入らないということがありました。しかし、そんな時に声をかけてくれたのが、同じ白組の三年生や他の団の応援団の人たちでした。このときに仲間がいることはとても大事なことで幸せなことだと思いました。結果は競技の部で優勝でした。コロナに負けない、中身の濃い体育大会になりました。

## 中学校生活最後の体育大会

赤組団長 新原 愛斗

僕は団長をさせてもらって一組全体をまとめる大変さを改めて感じました。優勝はできませんでしたが、僕の中では、結団力と仲間の熱い思いが一番強い赤組だったと思います。僕は、みんなの協力を得て、自分が団長になれたことに感謝の気持ちでいっぱい。お互いを信じ、何もかもが最高の赤組でした。最後に、楽しかったと思える体育大会になったので、いい思い出になりました。

## 思い出に残る体育大会

実行委員長 本田 うらら

今年の体育大会は、新型コロナウイルスの影響により例年通りのプログラムで実施することができませんでした。残念な気持ちもありましたが、三年生や応援団を中心に体育大会を盛り上げて楽しむことができました。全校生徒が短い練習期間で精一杯頑張つて仕上げ、心に残る素晴らしい体育大会となりました。本当にありがとうございました。



# 『ときはなて 一人一人の笑顔希望輝くステージで』

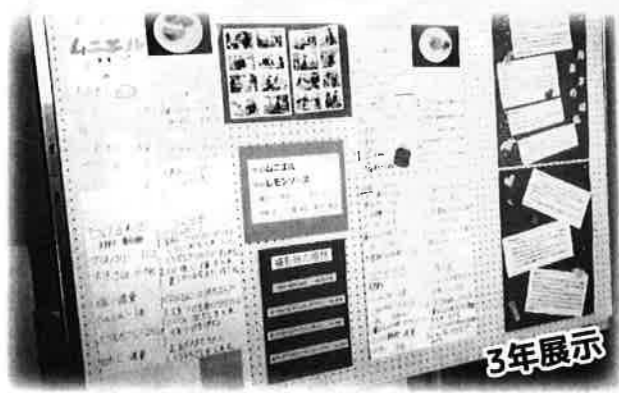
# 文化祭

11月15日、第11回文化祭が開催されました。コロナ下で制限のある開催となりましたが、舞台、展示ともに、見応えのある素晴らしい発表となりました。



午後の部  
舞台発表

3年劇



3年展示



2年劇



グランプリ



## 午前の部 合唱コンクール

グランプリ 3年1組  
最優秀賞 1年2組、2年3組

### 最優秀指揮者賞

- 1年3組 川畑 珠羅
- 2年1組 牧野 衣咲
- 3年2組 田之上智美

### 最優秀伴奏者賞

- 1年2組 小濱 桃子
- 2年1組 有川 叶恵
- 3年3組 小森 咲良

## 最高の文化祭!!

文化祭実行委員長 井之上 真結

今年の文化祭は、コロナウィルスの影響で制限される部分もありましたが、先生方や文化会館の方々のおかげで例年どおりのプログラムで開催することができました。合唱コンクールは、審査員長として今井先生も来てくださりすばらしいコンクールになりました。二、三年生の劇や、展示作品も準備が大変だったと思いますが、たくさんの方の思いが詰まったものになりました。

## 合唱グランプリ

三年一組 山田 悠太  
「グランプリをとりたいたい」その一心で、クラス一丸となり練習を重ねて迎えた本番。歌い終わった後の悔いのないやりにきった感、盛大な拍手、そして「グランプリは三年一組」と発表された瞬間

多くの方々の力で文化祭を大成させることができました。ありがとうございました。あの達成感と高揚感を僕は忘れることはないと思います。そして、トロフィーを手に振り返ったときに目にしたクラスみんなの笑顔と感涙も決して忘れません。指導してくださった先生方、そして最高の仲間感謝しています。



生徒会



1年モザイクアート



2年折り鶴アート

一年三組 前島 心結  
私は今年、文化祭の実行委員をしました。文化祭当日の一年生の主な仕事は、ドアマンです。でも一番大変だったのは、文化祭前に一年生全員で取り組んだモザイクアートの貼り合わせです。全クラスで約五二八枚貼りつけました。一枚一枚をつなぎ合わせる時、縦横がそろわなくて苦労しました。しかし、全部のピースがうまく合わさったとき、美しい風景ができていて、とても感動しました。

一年一組 牧野 衣咲  
私は合唱で初めて指揮者をしました。最初はやる気がある人とやる気がない人の差が大きく、うまく皆をまとめられるか不安でしたが本番が近づくとつれて皆がやる気を出して、良い雰囲気になっていきました。

## 環境整備部

環境整備部長 駿河涼子  
8月23日、第一回奉仕作業を行いました。今回は、全PTA会員対象としたもので、朝早い時間からたくさんの保護者の方々にご参加いただきました。新型コロナの影響もあり集まっていただけでも配慮の必要な中、皆様が各自考え協力してくださったおかげで無事作業を行い、気持ちよく二学期を迎えることができました。ご協力、ありがとうございました。

本番では今までで一番良い合唱ができました。指揮者を経験することができて良かったです。

劇では二年生のテーマ「平和」についての構成劇、展示では折り鶴アートに取り組めました。平和について深く考えることができました。

一年三組 帖佐 琴葉  
最優秀賞！一年三組!! 私たち二年三組は、合唱

コンクールで最優秀賞を勝ち取ることができました。私は、指揮者として日々の練習に取り組んできました。時には、みんなの心がばらばらで、練習ができません。時もありましたが、本番はみんなの心が一つになり、最高の歌声を響かせることができました。この優勝カップの重さは、みんなの思いと絆が詰まった、心地よい重さでした。